

本草圖譜

山草

三

三十二

農商務省
圖書
第二〇七號
共七二冊

和書門
八四二四
類號函架冊
七二

內閣文庫	和書
八四二四	類號
七二	冊架
九六函	架

內閣文庫	番號	和	8424
	冊數	72	(3)
	函號	196	190



本草圖譜

本草圖譜卷之七目錄

明治十二年購求

山草類 二之上

黃連

かまゆき

一種

大葉之物

二

三種

二葉之物

一種

長葉之物

五

一種

大の芥葉之物

一種

芥葉之物

十二

一種

蝦夷之産

一種

かまゆき黄連

六

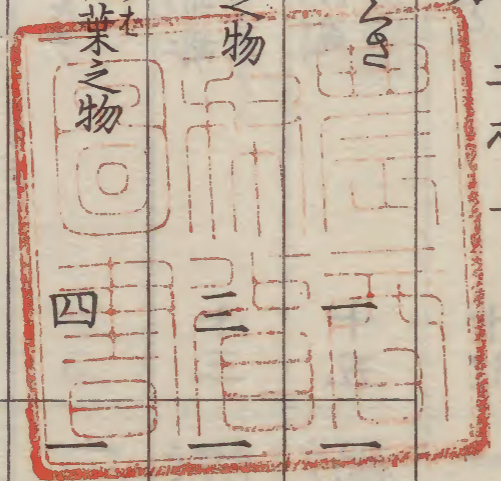
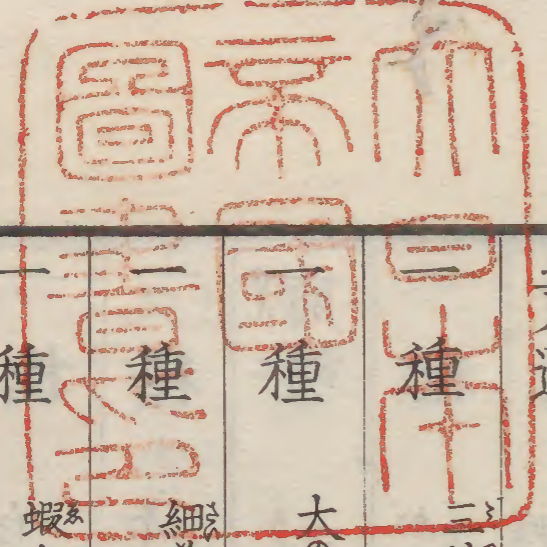
一種

大葉かまゆき黄連

一種

五加葉黄連

七



本草圖譜 卷之七 目錄

一種	山慈姑	蜜産	わまゐ	一種	うむり	三十
一種	尾州之産			一種	蝦夷之産	卅一
一種	ひがんとゑ		かこり	一種		卅二
一種	白花之物		きつねのかこり	一種		卅三
一種	あつ水仙		江州之産	一種		
水仙			蜜産	一種		
			八重の物	一種		

本草圖譜卷之七

東都

岩崎常正著

山草類 二之上

六十二種

本草圖譜 卷之七 一 陸園月夜

黄連ワケレ

かろまろさ 本草和名

加州より産するを菊葉小似て四時洞あつらひ正二月花と開く五
 瓣ありて内小又細瓣あり黄葉あり白花のりのち後英を
 結ぶ形稜斗菜の实小似て車輪の如く花のち花後新葉と生れ
 根黄色母根ありて鬚多し味甚苦し上品なり



本草圖譜
 卷之七
 黄連
 津園啓

凡黃連の類ハ
 四時通マシ三月
 花を開ク五瓣
 ある内ハ又細
 瓣あり黄葉ハ
 白花の物多ク
 花後葉を枯ル
 形樓斗菜の實
 似ト車福の如
 花後新葉を生
 根黄色母根ハ
 根多ク味苦



一種大葉の物
 薩州よりつるより
 菊葉の似ト粗大
 花実ハ菊葉と同ト
 根又上品なり

一種 三葉の物

此ハ菊葉の三葉
 ナリ根多ク
 大なり



本草綱目
 卷之七
 黄連
 二 漢 昆 明 菜

一種 長葉の物

若州若小産す川川芎芎
葉に似たり



一種 大のき芥葉さいの物

芥葉さいは似て長
大なりき葉長



本草圖言
卷之七
黄連
四
權國

一種 芥葉の物

丹波の亀山野州日光山及山城の貴船等より出づ芥葉に似て細し



一種 細葉の物

和州甲州等より出づ蝦夷に産するもの尤細し蕨の説は葉如小雉尾草との物との腐なり



黄連

本草綱目 卷之七 二 澤山昆布

一種 豆州の産



一種

蝦夷の産



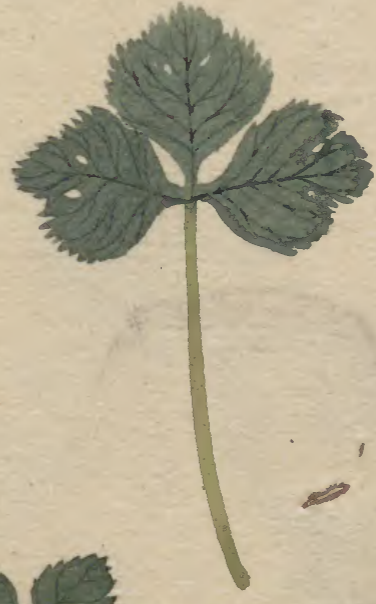
本草圖譜 卷之七 五 沙參

一種 かつむぎ 黄連 野州

野州日光及甲州信州等ニあり三葉
相合しと首落葉の如く黄綠色根細
長蔓をなす花一莖一花五瓣白色梅
花の如し

一種

大葉 黄連



一種 五加葉 黄連 和俗

屋久嶋の産

又錢黄連とりのり京の比叡山
甲州金峯山等あり葉の形
五加の如く小く七小葉根蔓
あり七五中を根連珠をのり
又一種根蔓より正特生旁
のあり葉より大なり七葉す
屋久嶋に産す根の形菊葉
の物に似たり



黄芩 コウキン クハネ

種朝鮮より
渡り多し作り
葉の十層葉に
似て狭く對
生し高さ三
尺花は木筒
の味唇乃
如く紫碧色
後扁き骨実
を徳中細
點子あり種
白花のあり
根扶老の二
尺許皮黄褐
色内黄色味
苦



一種
白花の物

柴胡



古来相州録倉より堀出せし録倉柴胡と名づく
 下依小金武州駒場及原山等小あり春月苗生
 大葉麥門冬に似て短く粉綠色莖高三三尺傘
 状をありて小黄花を開く
 小苗香似る實の防
 風子の如く堅く條理あり
 根黄黑色微香あり北
 柴胡なり



柴胡

一種 木たろき 同名



慶山野あり車前葉に似て米
穂高き三尺許花は前種と同一
根短く肥れず下品なり之を南
柴胡なり

柴胡



一種

木曾の白山に産す
 四月花あり
 葉胡の如く黄色を帯
 びて根細く蔓の
 如く處々苗を生ず



本草綱目
 卷之七
 柴胡
 一



前胡

うたがふ
和名 本草



白花の物

慶長山中多し初生三葉
長し此の獨活葉の如くゆゑ
葉紫をよき三四尺花の形
小似て大は紫黒花を飛く
実大麥の如く條理あり

一種 かに前胡



和州産之藥也當歸の根細長而色黄白を
花傘状を以て之を根細長而色黄白を
以て是なり
芬香なり換領の根日色
理黄白似人參而細短すと



防風



唐種防風唐種防風享保年中享保年中
 瀨戶氣瀨戶氣白頭翁白頭翁似似之之也也
 粉綠色粉綠色莖莖二尺二尺余余形形水水
 花花似似白色白色細小細小實實也也
 竊竊衣衣似似之之也也根根
 長長三四尺三四尺又又有有黃白色黃白色
 蘆頭蘆頭之之類類也也防風防風之之類類
 藥用藥用上品上品也也

一種

伊吹防風

和俗

下條小金武州山野
 中あり 根 胡蘿蔔
 葉は似て小葉は
 二尺許 小白花傘
 状なり 根 黄白
 色 防風は似て
 短く 一種 白川
 ありて 白川 防風
 行きの 石防
 風なり 又 一種 俗
 名 呼んで
 食料 するもの
 時珍云 珊瑚
 珊瑚菜なり



防風

獨活

漢種のりふ葉初生三枝
尤葉長まねの葉一莖小
つゝ大は二尺許深緑色
一七光澤あり幹を五六
尺彩紫色を帯ふ花は白
色実の白並に似て大羽
あり根の肉黄白色烈香
あり味辛熱湯をかけた
乾が服用し易し





卷活

あまろり



信州及野州日光山
 常州加波山南臺城
 寺の生す兼に食料
 の櫛木の一種に似て
 又多く光澤なく
 茎緑色花白色根
 皮黄褐色肉白
 氣味猛烈故に
 病人服すまゝ多
 くの毒あり熱湯を
 かけ乾すとす



うごたばし



京の高樫山に産する高樫巻活
 味辛く根皮紫黒色味辛く香
 あり葉の根の説は今人以紫
 節密者為巻活之不足也



巻活



土當歸

土當歸



江上芝増上寺山中あり
 又増上寺白岳と呼ぶ又
 飛鳥山下溪湿地地み多
 宿根より生ば春月花あり
 白色形獨治又似る莖
 中空虚ありて毛茸多く
 條理あり臭氣多しこの
 集解ゆゑ考へて統てなれ
 深類獨治但肉白補之臭
 氣重入賣者假充獨治と
 り也

升麻 あきま 肥前 肥後

武州豊嶋郡野州日光山其餘諸國小生於葉の三枝尤葉の硬く光澤鋸齒あり葉の背に三筋あり根の如く白蕪に皮を剥き少くして六瓣なり根一年一塊を生じ皮青黒色肉青白色味苦



一種 大葉の物



俗に鬼臉升麻と呼ぶ一莖三葉其葉甚大中七秋海棠に似て鋸齒ありて鬼臉の如く葉中より莖を首に

一種
細葉の物



武州飛鳥山下多
葉の川芹の如く穂が枝
あり根の敷塊連枝と
皮靑黒色肉靑綠色
ありて船木の葉と同
弘景説と云の雞骨
形麻と云る也

升麻



本草綱目 卷之七 五 澤蘭 蔞

一種 芍薬



武州御嶽野州日光山
等ゆあり葉の形種
中似て莖頭は二花を
開く形白蓮の如く
子て小く心は赤を
帯ふ花はま下向ふ
根のあか升麻に似て
細長あり

信州草津山中ゆはるりのあり
葉の白根あつるゆるゆるの形あり
細く白葉あり根は莖頭ありて長き
鬚あり

一種



本草綱目 卷之七 五 升麻

一種

大嶋子産す
葉は光澤あり白
色にして微黄を
帯ふ



一種

白花のさうあ

葉はさといふ長大あり又一種
花黄色なるをさ下の庵とす



一種 ありのりさう

苗葉短く葉深緑色
光澤あり花純白色也



一種 このありのりさう 式 延喜

葉の擗葉か似て枝多く花淡紅色細桿根は赤
毛あり肉淡紅ありて升麻根と異なり以上四枝
なる落鞆婦一名小升麻を充る穂ありて小
升麻ありかの一穂ありて下出ありの定なりあ
類は升麻の属を去る遠



苦参 くらく 和本名



下濕の地に生ずる葉の根の如く嫩苗
紫色を帯ふ莖を三四尺穂を生ず
根花の似たり白色又淡紫を帯ふ
のりあり後解を樹根角の如く
細根は午房の如く外皮黒色肉淡
黄味甚苦



白鮮



漢書物類志云
宿根より生ずる
呉茱萸に似て小
竹葉椒に似て大
なり花の莖草花
に似て小く白色
して紅紫を帯ぶ
葉の五稜ある形
八角茴香に似く
大なる中々小黒子
あり椒目の如く葉
莖より山椒の香の
あり根の金盞兒椒
各其根の皮に
似たり

白鮮



延胡索

享保年中唐種渡る上高なり
正月苗を栽と葉は牡丹の似て
小く粉綠色の花の形黄茶の似
淡紫色又桃朱の似る根
圓く皮肉は黄色指頭の大き
めく上高なり



一種

肥後の熊木中産する三葉
の中央に紫色の斑あり
花紫色根の唐種の物に似る



本草綱目 卷之七 延胡索

一種

葉の牡丹葉に似て稍細く
花は淡紫色なりあり又
漢種ありといふ



一種

尾州より来たる葉極て細
長くと胡蔓の櫛葉の
如く花大くと青碧色
根白色下品なり時珍の
説に似竹葉様といふ是
なり

一種

江州

武州道灌山の産する葉の形
竹葉に似て小く三枝十四五葉を
成す花淡紫色根白色ありて
乾煎の如く疵あり下品なり又
武州并の頭よりある長葉ありて
紫斑あり共下品なり



本草綱目 卷之七 延胡索 延胡索 延胡索

貝母

和名 ちんちん



漢種二高あり正月まへ嫩葉の百合に似て楕圓の細く未熟の如く花六瓣淡黄色実八核中七草薺実の如く根の形文蛤の如く二片相合て圓く白色なり一種の花淡白やく根の子を多く生ず

一種



物印満の圖花紅白相雜るものあり奇哉なり

フリケルラキイニツブルム



一種 月母

處處山陰多生 葉如銀の形似之 莖を抽て
 葉車輪の如く互生す 上の花あり 六瓣形百合
 花の似て長く 淡綠色根は山形に似て 黄白色
 なる 藺園の説は 似藺園葉との小葉なり



本草綱目 卷之七 廿二

山慈姑

あまふ

武州道灌山小産其外
諸州あり正月小葉
生中心一茎を抽く一
花を開く六瓣白色外
葉の條あり根の慈姑に
似て其小く黄白色なり

一種

潤葉あり中心白斑あり
花のあまふより大なり
肉白色外淡紫色の筋
あり



一種

葉の綿密に花の如く
一粒の花小なりと白く形壺乃
如根三連珠をなす

一種蝦夷松前産此の
花の枝あり黄白色苗
葉より小長大なり

一種尾州産其の
葉の形綠色長さ
三四寸莖花紫色
あり大なり



本草綱目

卷之七 山慈姑

廿二 崔園図説

本草綱目 卷之七 山慈姑

一種 かぐろの部

武州大箕谷野州日光山等あり南部七名産あり正月一葉を生けあり一葉ありの花あり
 六瓣淡紫色百合花に似て細く日光産の花深紫色根白色指頭の如く煮て薬とす
 乾之粉とあり蔵書説は葉似車前とりのれあり



本草綱目 卷之七 山慈姑



本草綱目 卷之七 山慈姑 廿二 謹園園家

本草綱目 卷之七 石蒜

石蒜 ヒガンバナ



秋月葉を枯水仙の似て瘠て硬く
深緑色夏に萎む枯秋にわらうて花
のくはし六瓣赤色の花あつまつて
傘状をあら根は水仙の如く皮黒く
白花のものを銀燈花を鏡といふ

一種 きりばのかきなり

一種 白花の
きりばの
かきなり



春葉を生す四月に枯五六月
花のくはし形草草似て
く淡赤色なる時珍説
その鐵色鱗を花なり

本草綱目 卷之七 石蒜 廿三 龍園周家

本草綱目 卷之七 聖濟 澤園 附

一種

江州志津原の産するの苗瘠小なりて秋月花を生け形も糸の如きをりか似て
甚しく高き三四寸花白色筒のやうなる実其似て黒色なり



一種

ちのすのせん

二月葉を生け水仙より漸大四月の
枯れ六月花を開け形も糸の如きをりか似て
實も大い淡紅色高き三尺許根の
又大なり



本草綱目 卷之七 石蒜 小口 藪園 附



水仙

房州の多葉長さの三四尺及ぶ

玉玲瓏花
 八重の水仙なり
 房州より来る二瓣の花
 黄色の短瓣を雑色と云ふ
 色の稀なり

本草圖譜
 卷之二十一
 水仙
 十一



一種

和蘭物印満の圖

八重キエス和

本草圖譜
卷之七
五

一種

物印忙の圖ニ水仙二種あり
本邦の島ありふを聞け



ナルシツシユス 旬羅
ナルシツセニテイロース 蘭

本草圖譜卷之七終

